

令和7年度 学校評価報告

草加市立瀬崎小学校

(令和8年2月2日作成)

1 学校教育目標	
<p>心豊かでたくましい子 ～学びいっぱい たくましさいっぱい やさしさいっぱい～</p>	
2 重点目標・努力目標	3 前年度の成果と課題
<p>(1) チーム学校における教育活動の推進 (2) 子供一人ひとりを大切にされた教育活動の推進 (3) 地域のなかにある学校・瀬崎小～地域とともにある学校づくり～</p>	<p>【成果】 ・学校・家庭・地域の連携による開かれた学校づくり 【課題】 ・主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 ・研究発表に向けた校内研修の推進</p>

4 評価表 ※評価基準 [A: 十分達成している B: おおむね達成している C: やや不十分である D: 不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営目標、方針 校務分掌組織 適所への適材配置 職員会議等の運営 予算の執行・決算、監査等 	A	<p>○様々な働き方の教職員がいる中で、全教職員が学校経営参画意識をもち、目指す学校像の具現化に向け、協働体制を構築ながら組織運営を進めた。</p>
	②研究・研修	<ul style="list-style-type: none"> 研究組織、計画、実施 校内研修の推進 授業改善への取組 校外研修会への参加 人材育成 	A	<p>○草加市教育委員会研究委嘱の「主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づくり」に関わる研究を通して、授業力を向上させることができた。 ●若手教職員とミドルリーダーのさらなる育成。</p>
	③保健管理・安全管理	<ul style="list-style-type: none"> 保健計画、安全計画 環境衛生の管理 健康観察、安全点検 緊急事態発生時の対応 危機管理マニュアルの作成・活用 	A	<p>○盗撮防止ガイドラインの策定を機に、全教職員で共通理解のもと、学校の安全管理体制を再整備することができた。 ○デジタル校務の導入により、児童の出欠・健康管理が進んだ。</p>
	④情報管理・施設設備管理	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の管理、保護 施設設備の管理と有効利用 	B	<p>○倫理確立委員会を核とした研修会を実施し、情報管理の徹底を行った。 ○不要な備品や教材の精査を行い、管理のしやすい環境整備が進んだ。 ●施設の老朽化による中期・長期的修繕計画の立案。</p>
	⑤地域との連携 開かれた学校	<ul style="list-style-type: none"> 学校情報の発信 学校公開の実施 学校運営協議会の推進 地域、校種間連携 PTA活動の活性化 	A	<p>○学校運営協議会やふれあい推進室、ふれあいひろば瀬崎等、地域との交流、地域の各組織との協働活動を通して、開かれた学校づくりの一層の充実を図った。</p>
	⑥幼保小中を一貫した教育	<ul style="list-style-type: none"> 目指す子ども像の共有 15年間を通じたカリキュラムの編成 一貫教育推進のための組織づくり 	A	<p>○瀬崎中校区として「聞いて、考え、伝え合う」授業づくりをキーワードに教職員研修を進めるとともに、子供同士の交流も積極的に実施し、一貫教育を進めた。</p>

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> 15年間を通じたカリキュラムの編成、実施 教育計画の作成 教育活動の評価 目標、方針の周知 授業時数の配当、確保 	A	○日課表の改定、授業時数の適正化を行い、教育計画の見直しを実施。学校行事の目的を明確化し、教育活動の改善を図った。
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 評価、評定の工夫 外部人材の活用 	B	○研究発表を通して、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善を図ることができた。 ●学力向上における授業改善。
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の作成 各教科との関連 道徳的実践力の育成 家庭、地域社会との連携 いのちの教育の推進 	B	○道徳授業の指導方法を共有し、日々の授業実践に生かすことができた。 ●道徳教育の家庭、地域への啓発、連携。
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導方法の工夫と改善 評価、評定の工夫 各教科、道徳教育との関連 中学校との連携 	A	○外国語専科とALTによる授業を実施。毎時間のスモールトークによって児童の技能が向上した。
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 学級活動、学級経営 学校行事 児童会活動 	B	○委員会活動やクラブ活動において、見通しを持った活動を行うことで、児童の自治的な活動実践が増加した。 ●若手教職員の学級経営力の向上。
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導内容の充実 指導方法の工夫と改善 評価の工夫 地域の人材・物的資源の活用 	B	○探究的な学びを意識した授業づくりを継続して実施した。 ●年間指導計画の見直しと地域人材の活用の促進。
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 組織的な生徒指導 問題行動への対処 教育相談、児童理解 いじめ防止対策 保護者、地域、諸機関との連携 	A	○学年の教職員や生徒指導委員会を中心とした組織体制の構築により、問題の早期発見、早期対応を図り、いじめの未然防止や早期解決を行うことができた。
	⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 計画の立案 指導内容の充実 中学校との連携 啓発的経験の充実 家庭、地域との連携強化 	B	○将来の夢や職業について、具体的なイメージを持つことができるよう学級活動を中心とした指導の充実を行った。 ●キャリアパスポートと関連付ける総合的な学習の時間の実践。
	⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> 個別の指導計画、支援計画 指導方法の工夫と改善 通常学級との交流 諸機関との連携 校内支援体制の整備 	A	○草加かがやき特別支援学校や教育支援室と連携しながら、個に応じた学びの場や支援方法の工夫・改善を図った。 ○特別支援学級の弾力的運用による個別支援の実施。
	⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画、支援計画の作成 図書館補助員の活用 諸機関との連携 図書館の整備 図書館利用の工夫 	B	○司書教諭や学校司書を核に、図書館整備、啓発掲示や放送等を実施。2年生以上のビブリオバトルや読書マラソン等により、全学年の読書量が増加した。 ●家庭での読書習慣の定着。
	⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> 教育計画の作成 校内研修の充実 ICT機器の積極的な活用 情報モラル教育の推進 	B	○校内研修会の実施やAIドリルの導入等、ICT機器を積極的に活用した。 ●SNSトラブルからのいじめ防止のための情報モラル教育のさらなる推進。
	⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の策定 各教科との関連 人権感覚の育成 校内研修の充実 	B	○校内研修や市の研修会を通して、教職員の人権感覚・人権意識が向上した。 ●教育活動全体における人権教育の計画的実施

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
Ⅲ 特色ある学校づくり	①「つながりを通した きく力の育成」における授業改善	・学力向上 ・主体的・対話的で深い学びの充実を図る授業改善	B	○研究発表会に向けた校内研修の実施により、教員の授業力が向上し、「聞いて、考え、伝え合う」学びの充実が図れた。 ●家庭学習の定着と充実。
	②生徒指導・教育相談体制の強化	・生徒指導 ・いじめ防止 ・不登校対策	A	○生徒指導の早期対応は本校の合言葉となり、「一人一人を大切に」にしながら学年や生徒指導部を中心に組織的な対応が行われた。一人の児童をチームで支援する体制が整った。
	③家庭地域との連携	・家庭との連携 ・学校応援団との連携 ・学校運営協議会との連携 ・地域人材の活用	A	○保護者の相談に誠実に対応することを通して家庭地域との信頼関係の構築を図った。 ●学校応援団の高年齢化による人材発掘。

5 総合評価 (学校関係者評価を含む)

- 「地域の中にある学校 瀬崎小」を合言葉に、地域との交流を積極的に実施するとともに、地域の各組織との協働活動を通して、開かれた学校づくりの一層の推進が図られた。本校のよさを「地域とのつながり」と挙げる児童が多く、浸透してきていることがわかる。
- 学校関係者評価、保護者評価では、今年度も落ち着いて授業に取り組む児童の姿や、熱心な教員の指導も良く、学校全体の雰囲気が良いとの評価をいただいた。
- 保護者アンケート「学校は保護者の相談に誠実に対応している」肯定的回答97.0%と高評価だった。児童間トラブルや長期欠席・不登校児童に対して、連絡・報告を迅速に行い、早期発見・早期対応を実施し、一人の児童をチームで支援する組織体制の構築を行ったためと考える。
- 草加市教育委員会研究委嘱を受け、瀬崎中学校区のキャッチフレーズ「聞いて 考え 伝え合う」における授業の充実、共通理解と共通指導を行うことで授業改善につながった。
- 働き方改革推進会議を実施し、「働きやすさ」と「働きがい」のある学校として業務改善を行った。授業時数の適正化により下校時刻が繰り上がり、学級事務や保護者連絡が勤務時間内に行えるようになった。

6 次年度の改善策

- 各学力・学習状況調査の評価・分析を行い、課題を明確にした上で、改善策を検討し、児童一人ひとりの学力向上を実現していく。
- 児童の運動能力の二極化が見られるため、生涯スポーツライフとなるための体育授業の充実、体育行事の実施方法の見直しを行っていく。
- 校内研修、授業研究を通して、さらなる教員の授業力及び学級経営力の向上を実現していく。
- 児童一人ひとりを大切に、新たな不登校児童を生まない居心地のよい学級づくりを実現する。
- 開校60周年記念行事を通して、地域人材の発掘、地域との協力体制の強化を図る。